

# 駅前吉島線（田中町交差点）ほか1か所非常用設備保守点検業務仕様書

第一条 受注者は、保守点検を行うにあたって、別紙保守点検報告書に定めるところに従うほか、発注者の指示にしたがうものとする。

第二条 契約書に定められた年2回の保守点検は、おおむね6か月の間隔で、点検を行うものとし、実施する時期は、発注者と受注者で協議して定めるものとする。

第三条 前2条の規定により実施する保守点検のほか、受注者は電話などによる質疑などに応答するものとする。

第四条 非常時に使用して破損した非常用ボタンのアクリル板は、受注者の負担で取り替えるものとする。

## 田中町トンネル

(1) 押ボタン式通報装置	18台
(2) 警報表示板	2面
(3) 制御装置 (TMC)	1台
(4) 副制御装置 (TSC)	1台
(5) 受信制御機 (RC)	1台
(6) 監視盤 (RM)	1台
(7) 非常電話機	6台

## 南千田橋東側地下道

(1) 非常警報制御機	1台
(2) 押釦発信器	13台
(3) 回転灯	2台

## 現地点検内容

### (1) 電源電圧測定

#### ア) 入出力電圧測定

各入出力電圧を測定し、基準値内であることを確認すること。

#### イ) 制御電圧測定

各制御電圧を測定し、基準値内であることを確認すること。

### (2) 動作試験

#### ア) 機側動作試験

各機器にて、機側動作試験を行い、正常に動作することを確認すること。

#### イ) 遠制動作試験

受信制御機 (RC) から遠制動作試験を行い、正常に動作することを確認すること。

#### ウ) 押ボタン発報試験

押ボタン式通報装置からの通報動作にて、各機器が動作することを確認すること。

#### エ) 調光動作試験

項目を表示している時、調光スイッチによりランプ輝度の明、暗の切り替わり、また、自動点滅器による明、暗の切り替わりを確認すること。

#### オ) 非常電話通話試験

緊急通報 (110・119) への接続試験を行い、正常に通話できることを確認する。

#### カ) 非常警報制御機

テスター等により電圧等を測定・点検し、正常に動作することを確認すること。

#### キ) 押釦発信器・回転灯

目視等により、損傷等がないことを点検し、正常に動作することを確認すること。

## 現地点検結果

点検終了後、すみやかに別紙「点検報告書」の様式で報告書を作成し、提出及び報告するものとする。

## 点検報告書

品名	型式	製造番号	設置場所：田中町トンネル 下り (南側)		
制御装置(TMC)	DMC761K	33841	点検日：令和 年 月 日	担当者：	

／	点検項目	点検内容及び判定基準	測定値	判定	備考	
電 圧 測 定	入力電圧	AC 200V±10%	V	良・否		
	交流出力	AC 200V±10%	V	良・否	プリンカー	
		AC 100V±10%	V	良・否	非・電	
		AC 100V±10%	V	良・否	インバータ	
		AC 100V±10%	V	良・否		
	制御電圧	DC 24V±10%	V	良・否		
		DC 5V±5%	V	良・否		
	位置表示灯出力	DC 26V±10%	V	良・否		
バッテリー充電電圧	DC 26.7V±1V	V	良・否			
表示ランプ点灯電圧	DC 24V±4V	V	良・否			
絶 縁 測 定	押ボタン回線 絶縁測定	1A ～アース間 250V メガーにて1MΩ以上	MΩ以上	良・否		
		1B ～アース間 250V メガーにて1MΩ以上	MΩ以上	良・否		
動 作 試 験	機側単独試験	機側各単独動作を確認する。	—	良・否		
	機側回路試験	総合回路動作を確認する。	—	良・否		
	遠方監視試験	TMC(TSC)→RC間の監視動作を確認する。	—	良・否		
	遠方制御試験	RC→TMC(TSC)間の制御動作を確認する。	—	良・否		
	押ボタン回路試験	押ボタンの試験発報を確認する。	—	良・否		
	押ボタンの発報試験	押ボタンの発報を確認する。	9台	良・否		
	サイレン設定	1～5分以内に設定する。	約1分	良・否		
	調光動作	手動	昼間、夜間の切り替わりを確認する。	—	良・否	
		自動	自動による切り替わりを確認する。		良・否	
	ランプテスト	表示板ランプテスト動作を確認する。	—	良・否		
通話試験	TMC～TSC間の通話を確認する。	—	良・否			
清 掃 等	外部点検	筐体の損傷、発錆、汚損、漏水の有無を確認する。	—	良・否		
	内部点検	接続部の緩み、断線等の有無を確認する。	—	良・否		
	清掃	ウエス、印毛等を使用して、盤内外の清掃を行う。	—	良・否		

## 点検報告書

品名	型式	製造番号	設置場所：田中町トンネル 下り (南側)		
制御装置(TIB)	DS761K	33839	点検日：令和 年 月 日	担当者：	

／	点検項目	点検内容及び判定基準	測定値	判定	備考	
1	制御電圧	AC 24V±10%	V	良・否		
	表示ランプ点灯電圧	AC 24V±4V	V	良・否		
2	サイレン鳴動試験	サイレンが鳴動する事を確認すること。	—	良・否		
	注意灯動作試験	注意灯の点滅回数は80±5回/分を確認する。	—	良・否		
	ランプテスト	表示灯のLEDが全点灯する事を確認する。	—	良・否		
	動作	調光動作	手動	昼間、夜間の切り替わりを確認する。	—	良・否
			自動	自動による切り替わりを確認する。	—	良・否
	試験	表示動作試験	トンネル内 事故発生	—	良・否	
トンネル内 作業中			良・否			
トンネル内 片側通行			良・否			
消滅			良・否			
凍結注意			良・否			
		スリップ注意		良・否		
3	外部点検	筐体の損傷、発錆、汚損、漏水の有無を確認する。	—	良・否		
	内部点検	接続部の緩み、断線等の有無を確認する。	—	良・否		
	清掃	ウェス、印毛等を使用して、盤内外の清掃を行う。	—	良・否		

## 点検報告書

品名	型式	製造番号	設置場所：田中町トンネル 上り (北側)		
副制御装置(TSC)	DSC761K	33842	点検日：令和 年 月 日	担当者：	

／	点検項目	点検内容及び判定基準	測定値	判定	備考
電 圧 測 定	入力電圧	AC 200V±10%	V	良・否	
	交流出力	AC 200V±10%	V	良・否	プリンカー
		AC 100V±10%	V	良・否	非・電
		AC 100V±10%	V	良・否	インバータ
		AC 100V±10%	V	良・否	
	制御電圧	DC 24V±10%	V	良・否	
		DC 5V±5%	V	良・否	
	位置表示灯出力	DC 26V±10%	V	良・否	
バッテリー充電電圧	DC 26.7V±1V	V	良・否		
表示ランプ点灯電圧	DC 24V±4V	V	良・否		
絶 縁 測 定	押ボタン回線 絶縁測定	1A ～アース間 250V メガーにて1MΩ以上	MΩ以上	良・否	
		1B ～アース間 250V メガーにて1MΩ以上	MΩ以上	良・否	
動 作 試 験	機側単独試験	機側各単独動作を確認する。	—	良・否	
	機側回路試験	総合回路動作を確認する。	—	良・否	
	遠方監視試験	TMC(TSC)→RC間の監視動作を確認する。	—	良・否	
	遠方制御試験	RC→TMC(TSC)間の制御動作を確認する。	—	良・否	
	押ボタン回路試験	押ボタンの試験発報を確認する。	—	良・否	
	押ボタンの発報試験	押ボタンの発報を確認する。(全数)	9台	良・否	
	サイレン設定	1～5分以内に設定する。	約1分	良・否	
	調光動作試験	昼間、夜間の切り替わりを確認する。	—	良・否	
		自動による切り替わりを確認する。		良・否	
	ランプテスト	表示板ランプテスト動作を確認する。	—	良・否	
通話試験	TMC～TSC間の通話を確認する。	—	良・否		
清 掃 等	外部点検	筐体の損傷、発錆、汚損、漏水の有無を確認する。	—	良・否	
	内部点検	接続部の緩み、断線等の有無を確認する。	—	良・否	
	清掃	ウエス、印毛等を使用して、盤内外の清掃を行う。	—	良・否	

## 点検報告書

品名	型式	製造番号	設置場所：田中町トンネル 上り (北側)		
制御装置(TIB)	DS761K	33840	点検日：令和 年 月 日	担当者：	

／	点検項目	点検内容及び判定基準	測定値	判定	備考	
1	制御電圧	AC 24V±10%	V	良・否		
	表示ランプ点灯電圧	AC 24V±4V	V	良・否		
2	サイレン鳴動試験	サイレンが鳴動する事を確認すること。	—	良・否		
	注意灯動作試験	注意灯の点滅回数は80±5回/分を確認する。	—	良・否		
	ランプテスト	表示灯のLEDが全点灯する事を確認する。	—	良・否		
	動作	調光動作	手動	昼間、夜間の切り替わりを確認する。	—	良・否
			自動	自動による切り替わりを確認する。	—	良・否
	試験	表示動作試験	トンネル内 事故発生	—	良・否	
トンネル内 作業中			良・否			
トンネル内 片側通行			良・否			
消滅			良・否			
凍結注意			良・否			
		スリップ注意		良・否		
3	外部点検	筐体の損傷、発錆、汚損、漏水の有無を確認する。	—	良・否		
	内部点検	接続部の緩み、断線等の有無を確認する。	—	良・否		
	清掃	ウェス、印毛等を使用して、盤内外の清掃を行う。	—	良・否		

## 点検報告書

品名	型式	製造番号	設置場所：TMC内		
伝送部	—	—	点検日：令和 年 月 日	担当者：	

／	点検項目	点検内容及び判定基準	測定値	判定	備考
1 電圧測定	制御電圧	DC 5V±5%	V	良・否	
		DC +12V±5%	V	良・否	
		DC -12V±5%	V	良・否	
		DC 24V±10%	V	良・否	
2 伝送	送信レベル	0 ~ -15dbm	dbm	良・否	
	受信レベル	0 ~ -35dbm	dbm	良・否	
3 動作試験	遠方監視試験	TMC(TSC)→RC間の監視動作を確認する。	—	良・否	
	遠方制御試験	RC→TMC(TSC)間の制御動作を確認する。	—	良・否	
	通話試験	RC～TMC間の通話を確認する。	—	良・否	
	電話呼出	TMC→RCの呼出を確認する。	—	良・否	

品名	型式	製造番号	設置場所：TMC内		
計測部	—	—	点検日：令和 年 月 日	担当者：	

／	点検項目	点検内容及び判定基準	測定値	判定	備考
1 電圧測定	入力電圧	AC 100V±10%	V	良・否	
			/	/	
3 動作試験	測温センサー 動作試験	手動	—	良・否	
		自動			
	水分センサー 動作試験	手動	—	良・否	
		自動			

## 点検報告書

品名	型式	製造番号	設置場所：中区役所 3F		
受信制御機(RC)	RC061K	33837	点検日：令和 年 月 日	担当者：	

／	点検項目	点検内容及び判定基準	測定値	判定	備考
1 電 圧 測 定	入力電圧	AC 100V±10%	V	良・否	
	制御電圧	DC 24V±5%	V	良・否	
		DC +12V±5%	V		
		DC -12V±5%	V		
		DC 5V±5%	V		
	バッテリー充電電圧	DC 28.5V±1V	V	良・否	
2 伝 送	送信レベル	0 ~ -15dbm	dbm	良・否	
	受信レベル	0 ~ -35dbm	dbm	良・否	
3 動 作 試 験	遠方制御試験	TMC(TSC)→RC間の監視動作を確認する。	—	良・否	
	遠方監視試験	RC→TMC(TSC)間の制御動作を確認する。	—	良・否	
	伝送試験	RC～TMC間の通話を確認する。	—	良・否	
	通話試験	TMC→RCの呼出を確認する。	—	良・否	
	電話呼出	RC→TMCの呼出を確認する。	—	良・否	
	ランプチェック	パネルランプ点灯を確認する。	—	良・否	
	ブザー動作	鳴動監視項目での鳴動を確認する。	—	良・否	

品名	型式	製造番号	設置場所：中区役所 B1F		
監視盤(RM)	—	—	点検日：令和 年 月 日	担当者：	

／	点検項目	点検内容及び判定基準	判定	備考
1 動 作 試 験	監視試験	RC→RM通報動作にて、「事故発生」のランプ点灯及びブザーが鳴動する事を確認する。	良・否	
	ランプチェック	パネルランプ点灯を確認する。	良・否	
	ブザー停止	ブザー停止ボタンを押し、ブザーの鳴動が停止する事を確認する。	良・否	

## 点検報告書

品名	型式	製造番号	設置場所：田中町トンネル 上下線		
非常電話機	—	—	点検日：令和 年 月 日	担当者：	

／	点検項目	点検内容及び判定基準	測定値	判定	備考
1 電 話 機	外部点検	本体及び送受話器の破損・汚損の有無を確認する。	—	良・否	
		取付不良（ガタツキ等）の有無を確認する。	—	良・否	
	通話試験	緊急通報（110）への接続を確認する。 通話品質（雑音、音量不足遠話の有無）を確認する。	—	良・否	
		緊急通報（119）への接続を確認する。 通話品質（雑音、音量不足遠話の有無）を確認する。	—	良・否	
2 収 容 箱	外部点検	収容箱の破損・汚損・朽廃・取付不良（ガタツキ等）の有無を確認する。	—	良・否	
		扉のガタツキ、自動閉まり不具合の有無を確認する。	—	良・否	
		照明灯の点灯を確認する。	—	良・否	
3 清 掃 等	清 掃	ウエス、刷毛等を使用して電話機及び収容箱の清掃を行う。	—	良・否	

## 点検報告書

装 置 名	設置場所：南千田橋東側地下道		
非常警報制御機（照明分電盤内）	点検日：令和    年    月    日	担当者：	

点検箇所	点検項目	点検方法	結果判定	備 考
外 観	変形、損傷、著しい腐食等がないこと。	目 視	良・否	
電圧計	変形、損傷等がなく、指示値が適正であること。	目 視	良・否	
継電器	脱落、端子の緩みがないこと。	目 視	良・否	
	タイマーの設定値がT：10分、T1：1秒となっていること。	目 視	良・否	
接続部	端子の緩みがないこと。	目 視	良・否	
電源部	受電端子部にて入力電圧AC200Vを測定する。	テスター	良・否	
	直流電源端子部にて出力DC24Vを測定する。	テスター	良・否	
	蓄電池端子部にて出力DC24Vを測定する。	テスター	良・否	
動作試験	押釦発信器により警報を発生させ、回路復旧スイッチ操作によりベルが停止すること。（13台分）	操 作	良・否	
	停電発生時に警報を発生させ、正常動作すること。	操 作	良・否	

## 点検報告書

装 置 名	設置場所：南千田橋東側地下道		
押釦発信器 (P 1～P 13)	点検日：令和 年 月 日	担当者：	

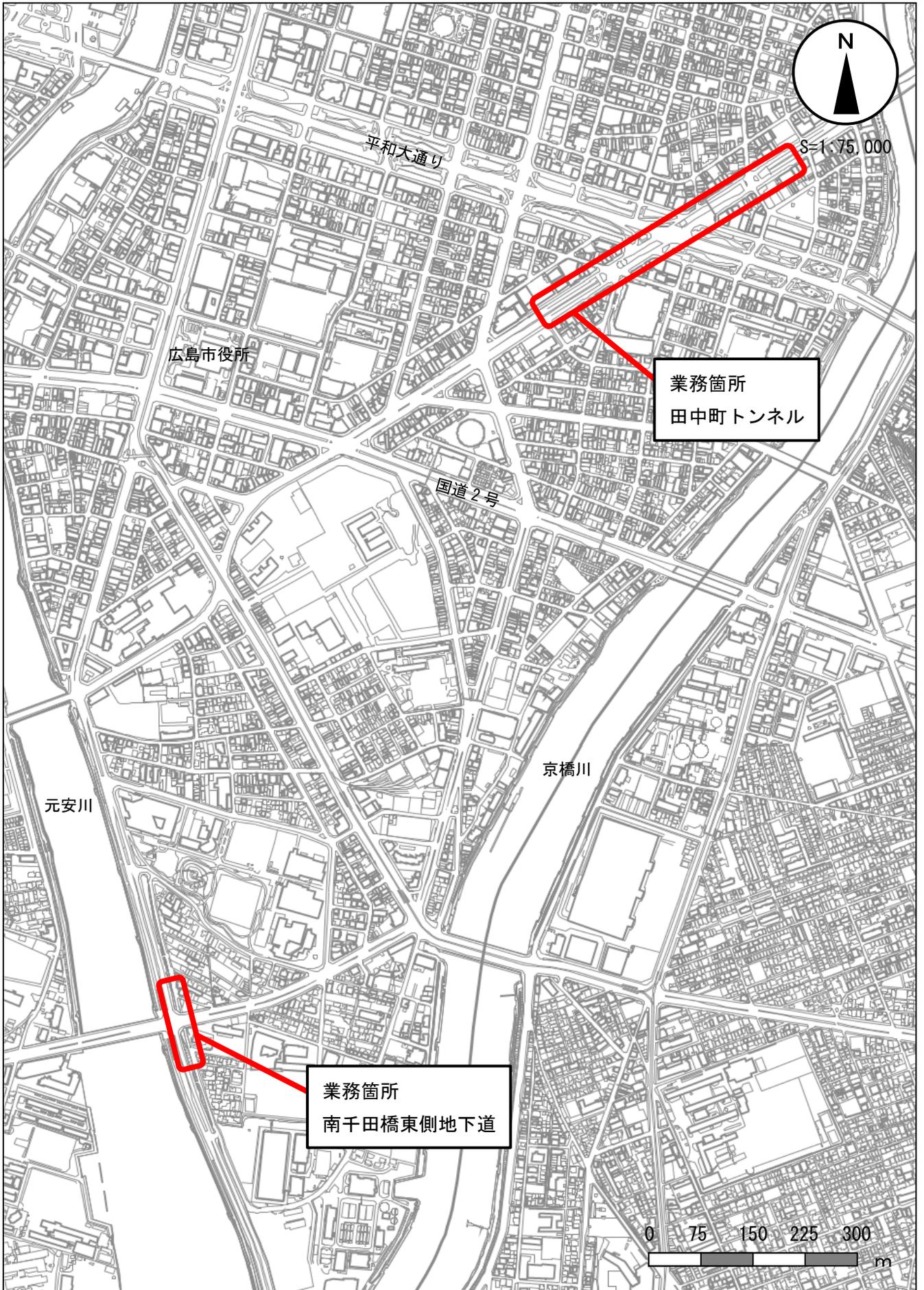
点検箇所	点検項目	点検方法	結果判定	備 考
外 観	変形、損傷、著しい腐食等がないこと。	目 視	良・否	
取付ボルト	緩みがないこと。	目 視	良・否	
接続部	端子の緩みがないこと。	目 視	良・否	
動作試験	通報スイッチにより警報を発生させ、表示灯が点滅すること。	目 視	良・否	
	通報スイッチにより警報を発生させ、ベルが鳴動すること。	聴 音	良・否	

装 置 名	設置場所：南千田橋東側地下道		
回転灯 (K 1～K 2)	点検日：令和 年 月 日	担当者：	

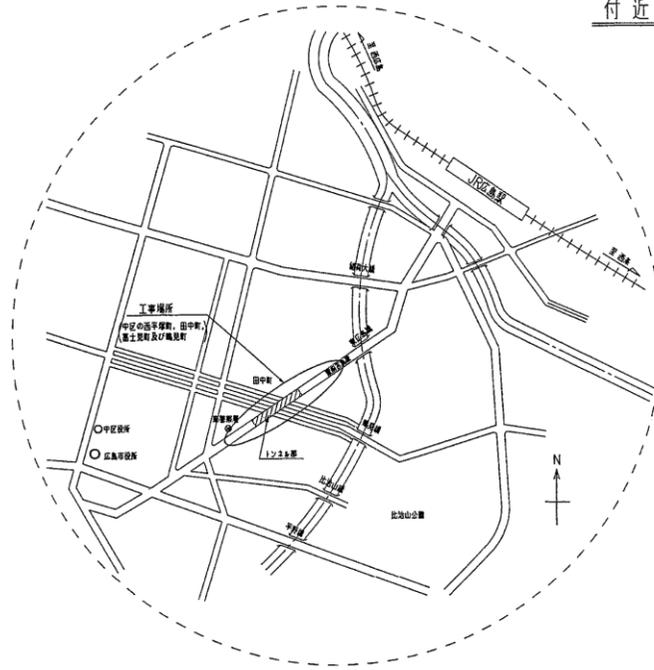
点検箇所	点検項目	点検方法	結果判定	備 考
外 観	変形、損傷、著しい腐食等がないこと。	目 視	良・否	
取付ボルト	緩みがないこと。	目 視	良・否	
動作試験	押釦発信器により警報を発生させ、回転灯が動作すること。	目 視	良・否	
	押釦発信器により警報を発生させ、ベルが鳴動すること。	聴 音	良・否	

# 位置図

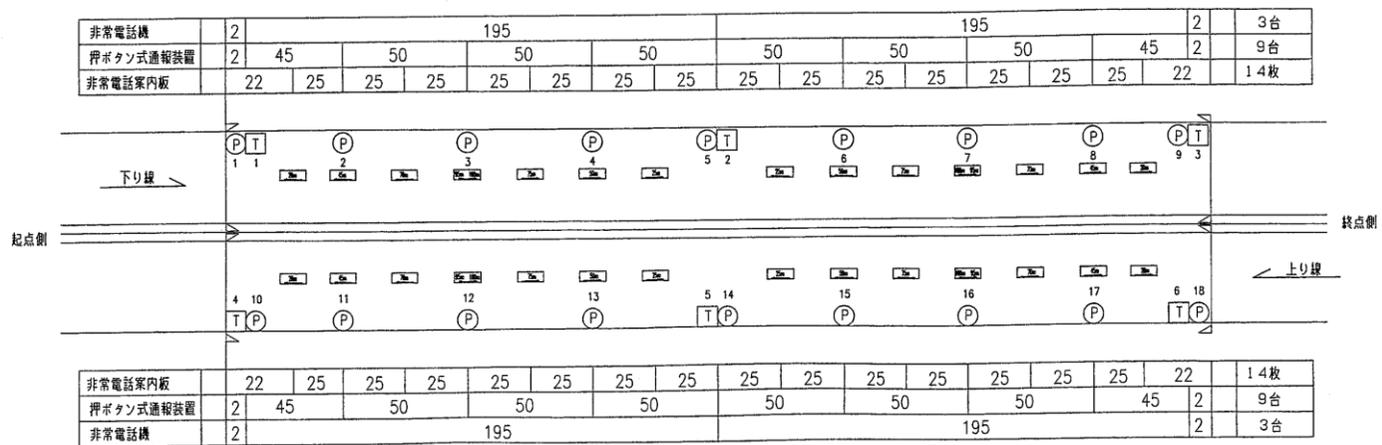
中区鶴見町ほか2町



付近見取り図



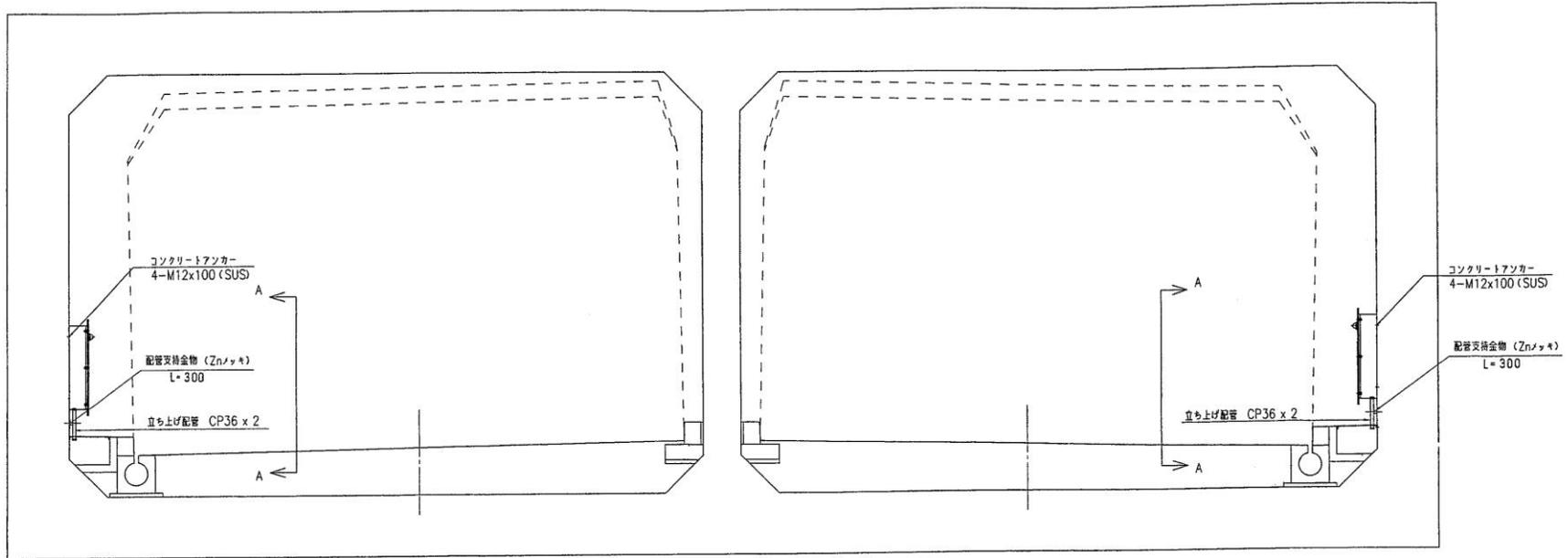
ボックスカルバート内機器割付図



\*1) 単位はmとする。

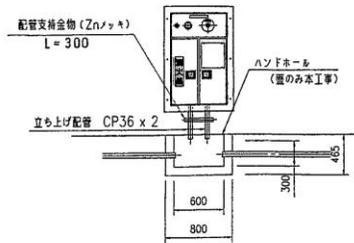


坑内非常用設備機器取付要領図 S=1/30

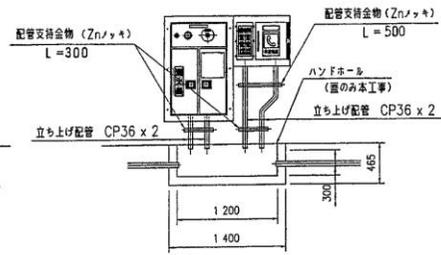


A-A視図

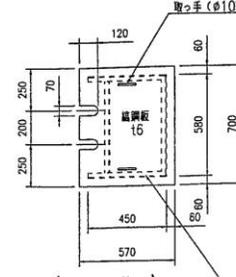
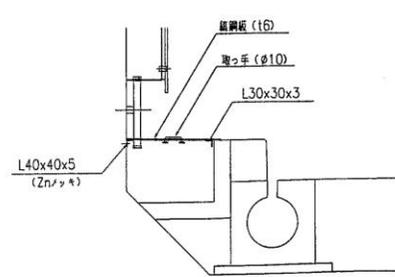
押ボタン式通報装置部



押ボタン式通報装置+非常電話部

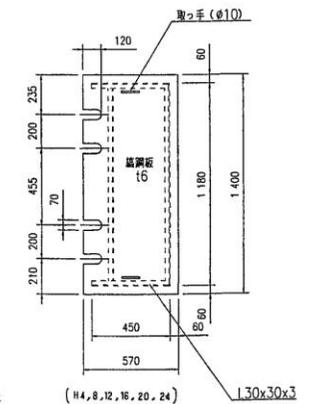


ハンドホール蓋詳細図 S=1/15



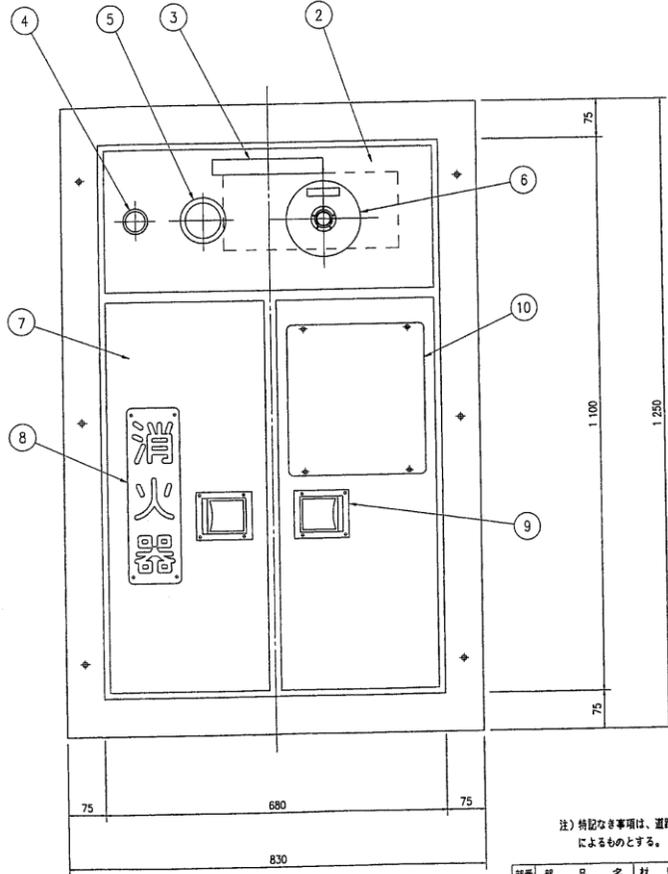
(H5~7, 9~11  
H17~19, 21~23)

注) 材質: SS400 仕上げ: 溶融亜鉛メッキ (HDZ35) とする。

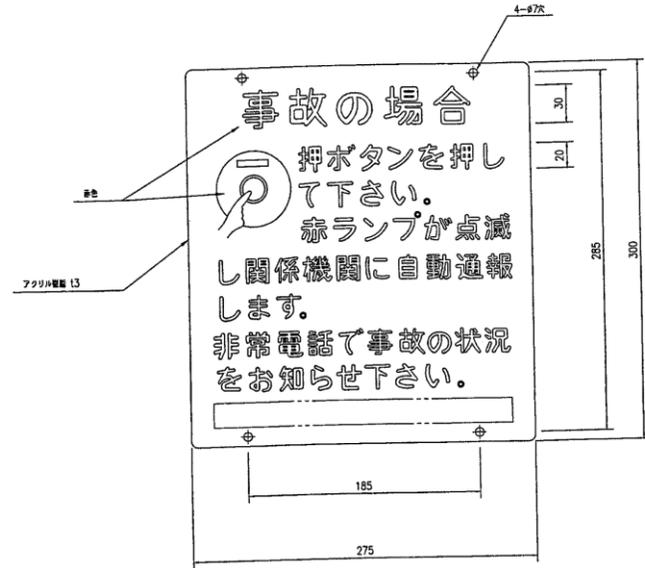


機器等一般図(1) S:各図

押ボタン式通報装置外形図(坑内用) S=1/5



通報装置説明板 S=1/2



注) 特記なき事項は、道路トンネル非常用設備標準仕様書・同解説(案)によるものとする。

部番	部品名	材質	数量	備考
1	本体	SPCC	1	t 2.3
2	通報部扉	SPCC	1	t 2.3
3	主観銘板	アクリル	1	t 2
4	シリリター錠	ZDC	1	鍵 No.300
5	赤色標示灯		1	発光ダイオード
6	押ボタンスイッチ		1	
7	消火器収納部扉	SPCC	2	t 3.2
8	名称板	ALP	1	t 2
9	平面ハンドル	SUS	2	
10	通報装置説明板	アクリル	1	t 3
11	中箱	SUS	1	t 1.5
12	脚輪	SPCC	1	t 2.3
13	消火器	組立品	2	ABC 6kg

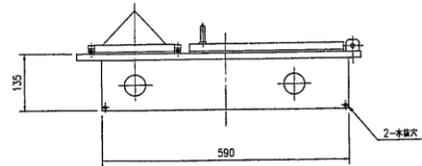
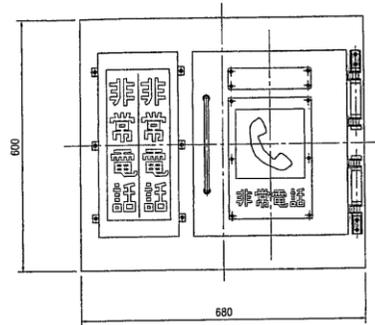
説明板仕様

- 1、文字及び図柄は裏面より彫刻し黒色及び赤色塗装を充填しその後、裏面全体に白色塗装をする。
- 2、赤色部分は蛍光塗装(トンネル内)一般色(トンネル坑口)。
- 3、書体は丸ゴシック体とする。

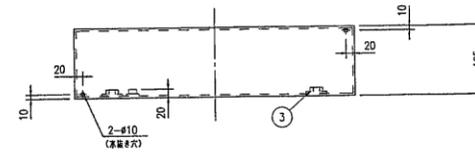
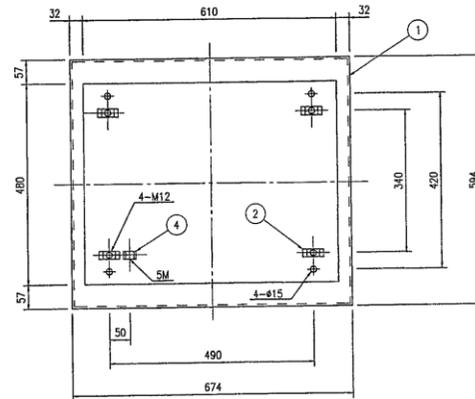
特内の文字については、別途打合せ指示

機器等一般図(2) S:各図

非常電話機外形図 S=1/6  
トンネル坑内形 (NTT支給品)



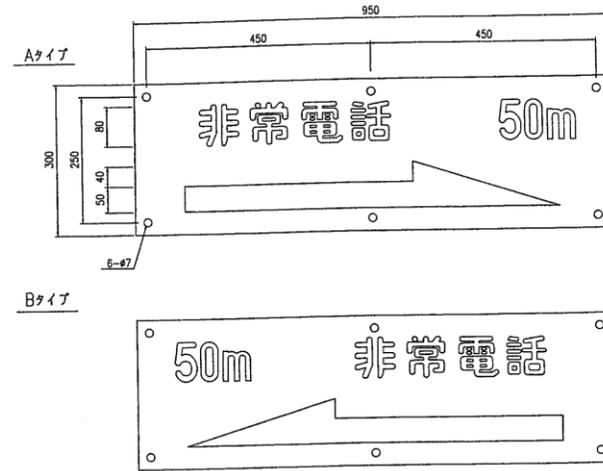
非常電話機埋込外箱 S=1/6



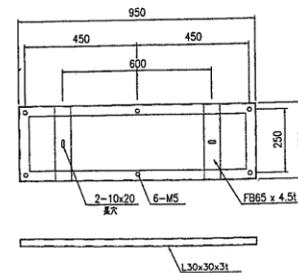
部番	名称	材料	数量	備考
1	箱体	SPCC	1	t2.3
2	ネット取付板		4	
3	ウェルドナット	S	4	
4	接地端子台	SPCC	1	t2.3

注記  
1. 仕上げは亜鉛溶射後塗装すること。  
2. ネットのネジ山は、ロック後さうものとする。

非常電話案内板外形図 S=1/5

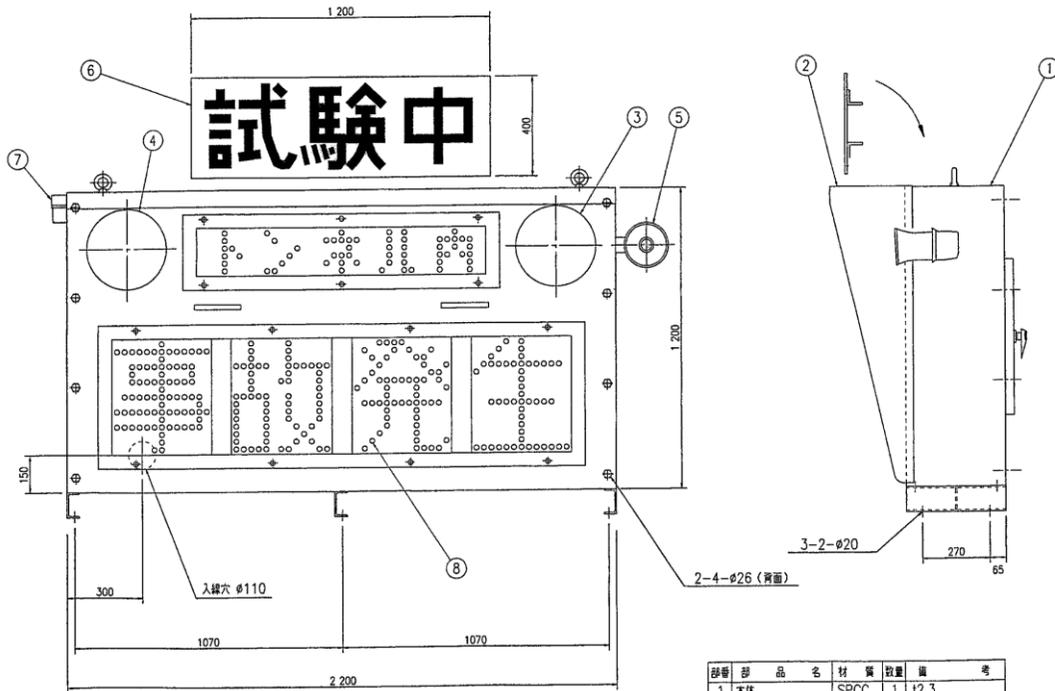


网上取付架台 S=1/10



注)  
1) 非常電話案内板は、緑色に白文字、白矢印とする。  
2) 取付架台は、溶融亜鉛仕上り (JIS H 8451 HDZ 35) とする。  
3) 特記なき事項は、道路トンネル非常用設備標準仕様書・図解説(案)によるものとする。

警報表示板

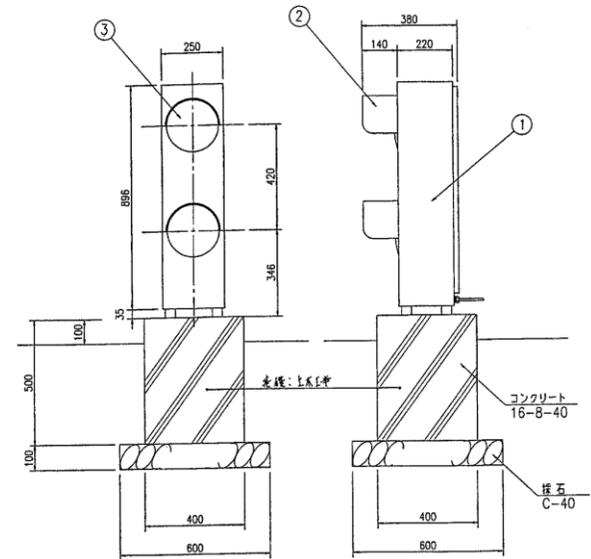


注 記

1. 仕上げは、亜鉛溶射 (ZS-40) 後、指定色塗装仕上げとする。
2. 特記なき事項は、道路トンネル非常用設備標準仕様書・周知図 (案) によるものとする。

部番	部品名	材質	数量	備 考
1	本体	SPCC	1	t2.3
2	フード	SPCC	1	t2.3
3	赤色注電灯		1	
4	黄色注電灯		1	
5	ワイレン用スピーカ		1	
6	「試験中」看板	AR P	1	
7	自動点滅器		1	
8	表示部	LED	1	

ブリンカーライト



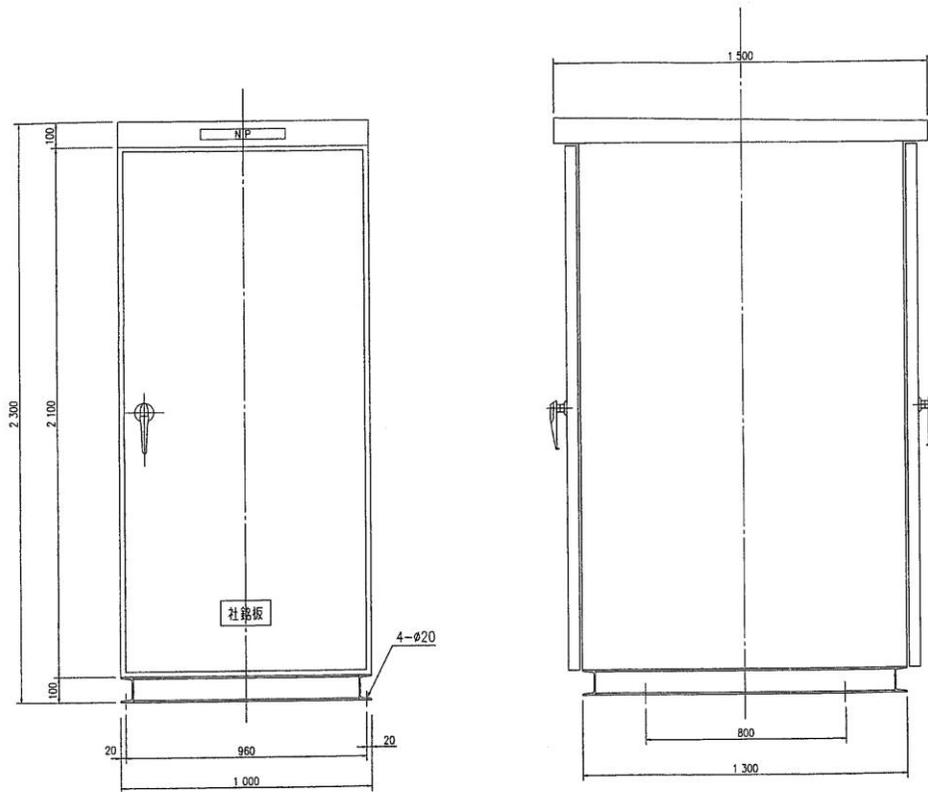
注 1) 仕上げはメラミン樹脂焼き付け塗装、マンセル3.5Y8/14 (黄色) とする。

注 2) 使用電圧は、200V とする。

部番	部品名	材質	数量	備 考
1	本体	SPCC	1	t2.3
2	フード	SPCC	1	t2.3
3	黄色注電灯		2	

機器等一般図(4) S = 1/10

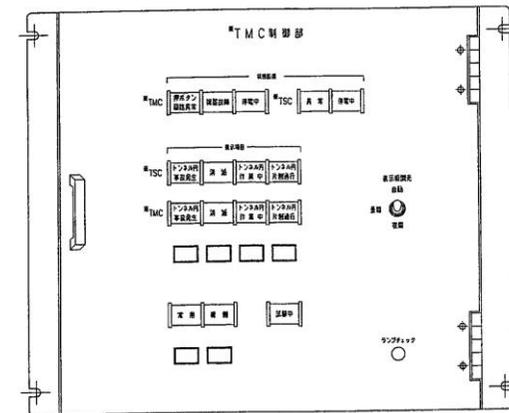
制御(副制御)装置



注記

1. 構造は、屋外用置式とする。
2. 本体の仕上げは、亜鉛溶射 (ZS40) 後、指定色塗装とする。
3. チャンネルベースの仕上げは、溶融亜鉛メッキ (HDZ55) とする。
4. インバーターは、TMC、TSC共150VAとする。
5. 蓄電池は、TMC、TSC共MSE-50Ahとする。
6. 耐雷変圧器は 1.5KVA 内蔵とする。
7. 特記無き事項は、道路トンネル非常用設備標準仕様書・図解説(案)によるものとする。

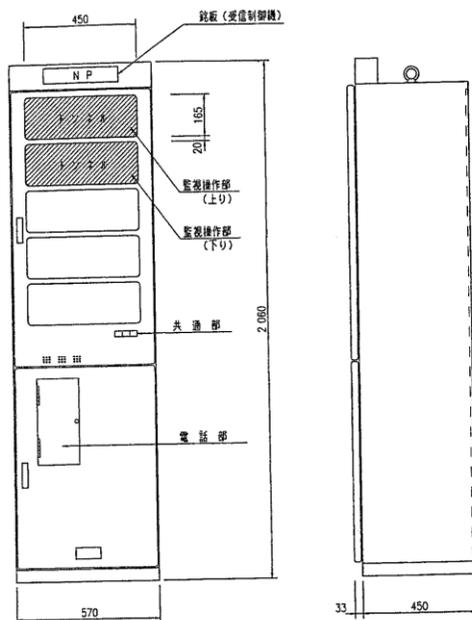
操作パネル参考図



上記パネル図は、TMC側を示し TSC側では※印が TMC→TSC  
TSC→TMCとなる。

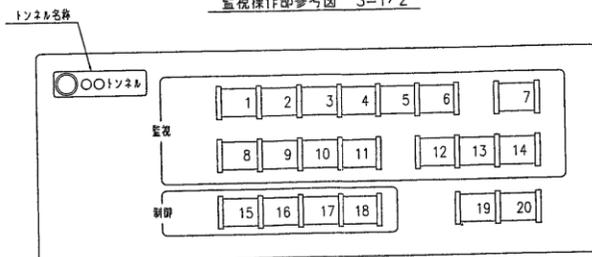
機器等一般図(5) S:各図

受信制御機 S=1/10  
(事務所)



注) 特記なき事項は、道路トンネル非常用設備標準仕様書・同解説(案)によるものとする。

監視操作部参考図 S=1/2

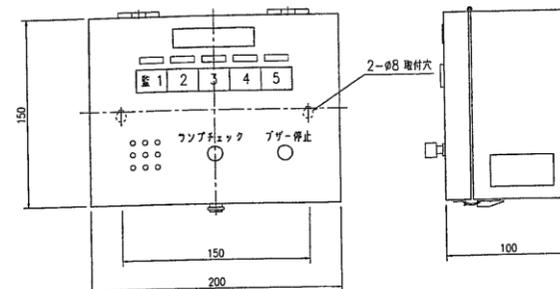


NO	文字	色	NO	文字	色
1	■故障(TMC)	0	15	トンネル内事故発生	R
2	■故障(TSC)	0	16	消滅	G
3	番電池出力停止	0	17	トンネル内作業中	G
4	呼ボタン回路異常	0	18	トンネル内片側通行	G
5	停電	0	19	ブザー停止	G
6	伝送異常	0	20	ランプチェック	G
7	電話呼出	0			
8	事故発生	R			
9	消滅	0			
10	作業中	0			
11	片側通行	0			
12	検測	0			
13	試験中	0			
14	呼ボタン通報動作	R			

注1) 色は、各々 O:緑、R:赤、G:黄を示す。

注2) ■印部は、上り側は故障(TMC)がファンク、下り側は故障(TSC)がファンクとなる。

監視盤 S=1/2

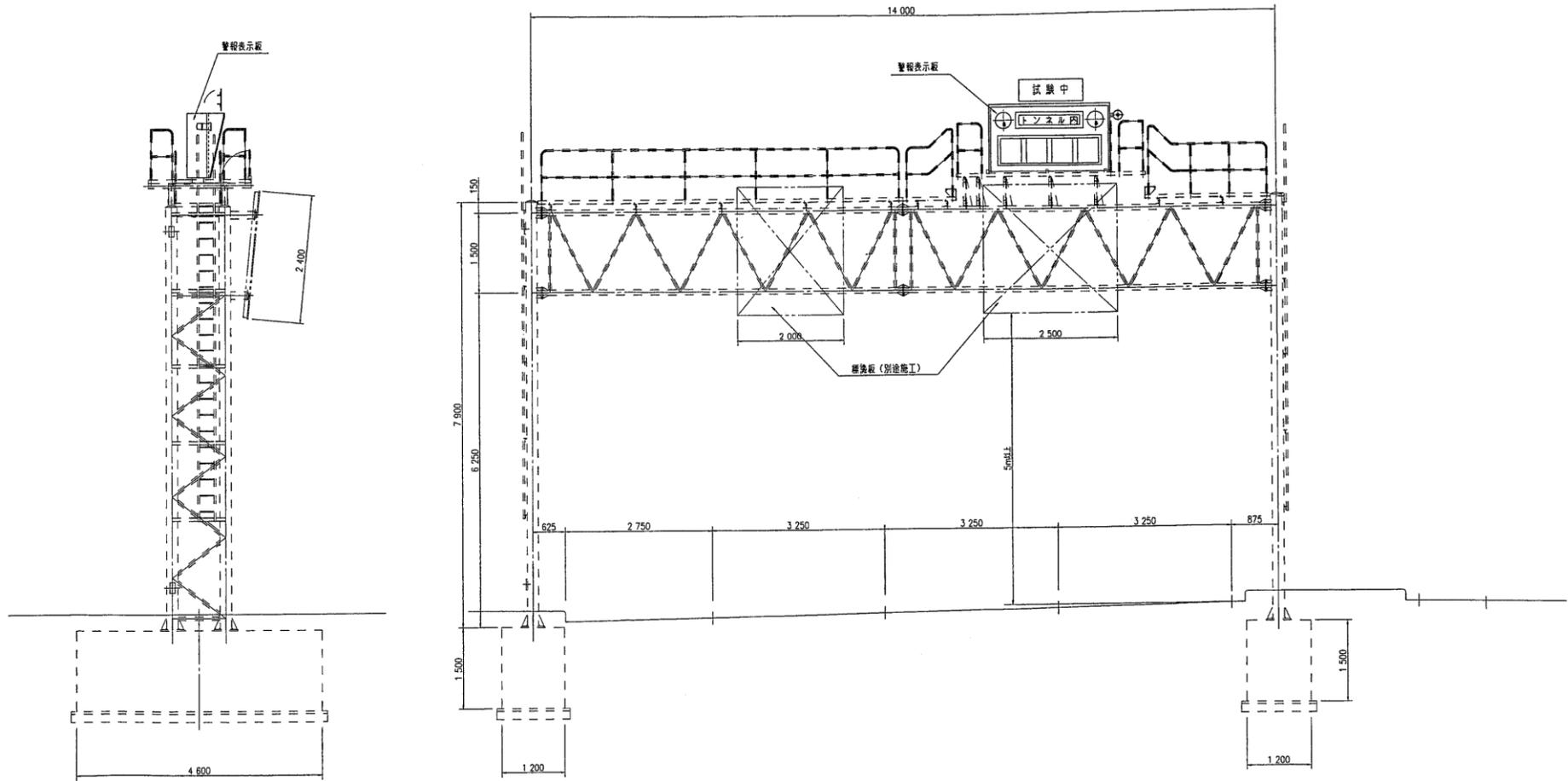


注) 特記なき事項は、道路トンネル非常用設備標準仕様書・同解説(案)によるものとする。

	文字	備考
監 1	事故発生	〇〇トンネル(上り)
監 2	事故発生	〇〇トンネル(下り)
監 3	事故発生	
監 4	事故発生	
監 5	事故発生	

表示板装柱図(1) S=1/40

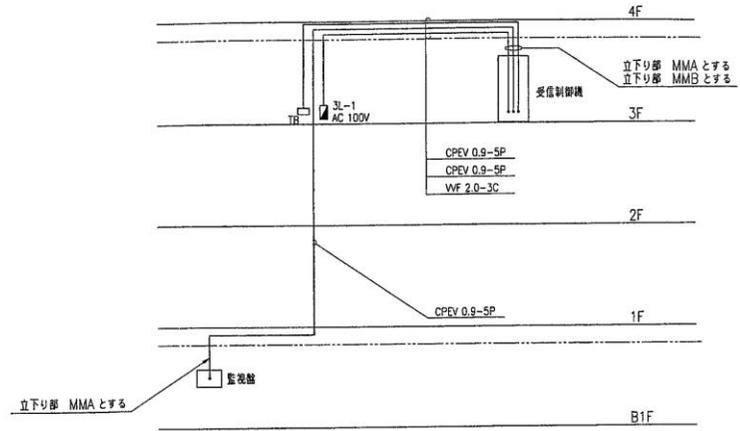
No.4+00 地点



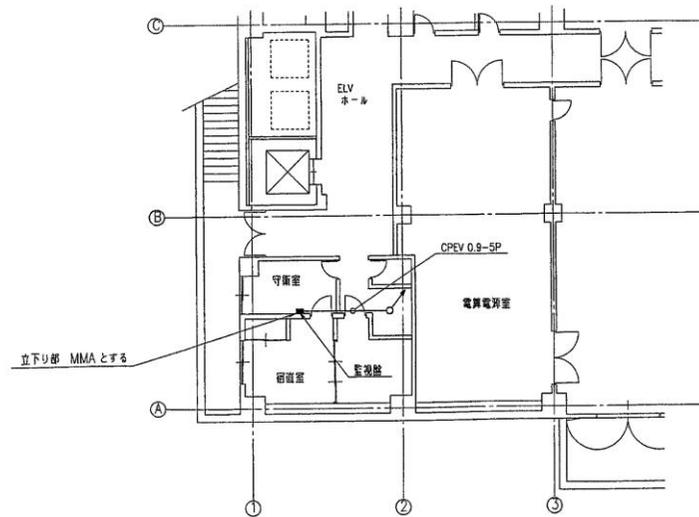
注) 円形支柱及び基礎は、別途施工とする。

中区役所機器配置、配線図 S=1/100

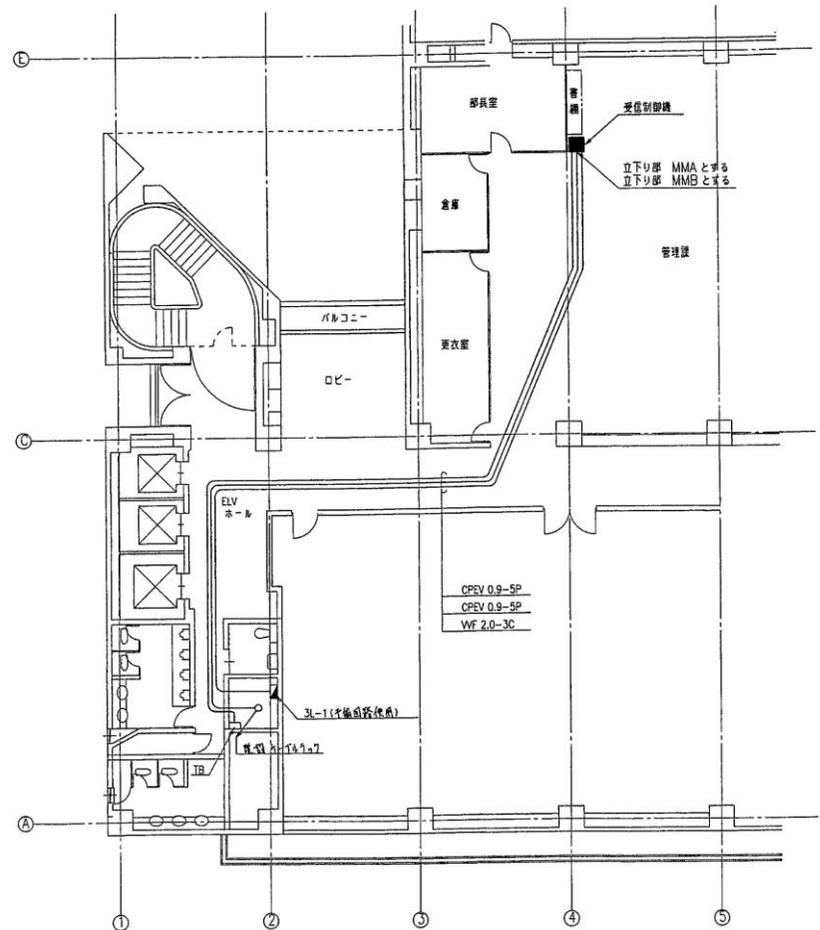
配線系統図



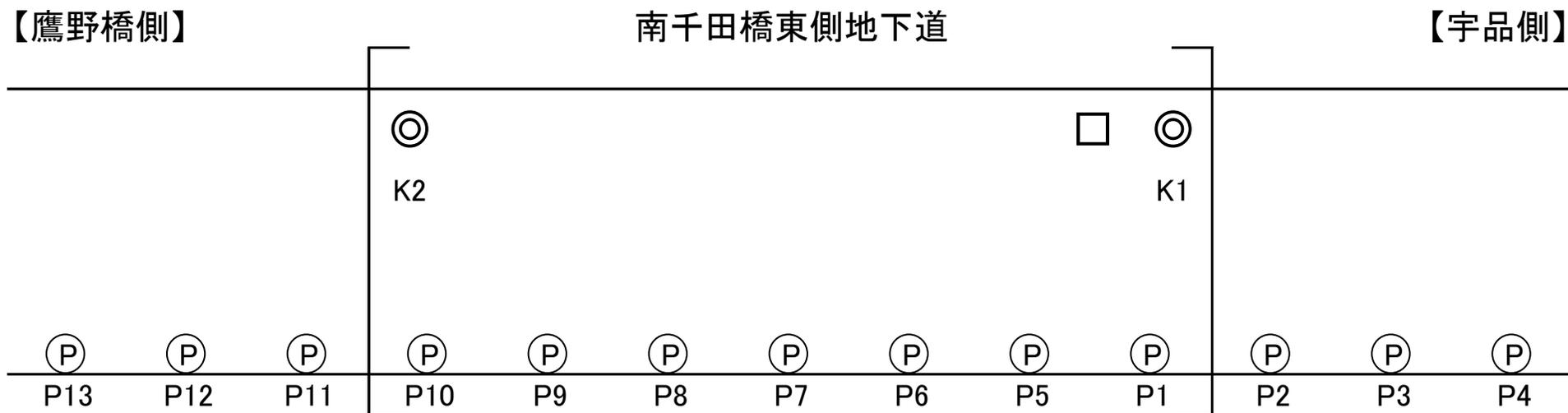
B1階平面図



3階平面図



## 非常警報設備 構成図



### 【凡例】

記号	名 称	台数	備 考
(P)	押釦発信器(P1~P13)	13	発信器・表示灯・ベル
◎	警報表示灯(K1~K2)	2	回転灯・ベル
□	照明分電盤	1	非常警報制御機